

	意見・提言・感想等	回 答
1	<p>第32回議会報告会・意見交換会（2/8北公民館、約70名参加）</p> <p>◇第4回定例会議報告（15分）</p> <p>短い報告でしたので、資料の配布はありましたが、参加者は理解が届かなかったと思います。</p> <p>◇地域の現状と課題（意見交換会）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨時下水が溢れる、産廃投棄が止まない←県や市に訴えても実質動いてくれない、聞くだけでフォローがされていない、改善されない</li> <li>※市政側・市役所両方に受身体質、新しい取り組みを嫌う傾向があるように感じました。新しい事に取り組むと前例となり、業務に組み入れられることを嫌うように思います。</li> <li>市役所内或いは外部に市民の困り事を受け、しかるべき市の機能に持ち上げフォローする所ができると良いと思いました。</li> <li>・ワクチンでの若年者の死亡が増えている、ワクチン接種により増加しているとの指摘。</li> <li>おくやみ欄を毎朝みっていますが、発言者の言うような傾向は認められません。個人の考えは別に、もう少し因果関係が明らかになるのは時間が必要に思いました。</li> </ul>	<p>ご意見いただき、ありがとうございます。</p> <p>参考にさせていただきます。</p>
2	<p>令和6年4月1日施工開始予定</p> <p>旧川内北小学校の跡地利用で 授産施設「桐生みやま園」の移転計画について</p> <p>地元民には絶大な思い出の多い シンボリック存在 北小の「大ケヤキ」を残したい</p> <p>校庭グラウンド西側には榲の大木(およそ200年以上とみられる)がある。歴代卒業生には100年以上もの長きにわたっての思い出の一本立ちの大樹である。</p> <p>枝の差し渡し20メートル以上、樹高15メートル程度。太さ、目通り1.5m程度。</p> <p>校庭及び校舎地は 縄文時代からの集落と古墳遺跡上に存在し、北側隣接地を含めて貴重な発掘出土品が多数存在している事でも知られている場所である。</p>	<p>ご意見いただき、ありがとうございます。</p> <p>参考にさせていただきます。</p>

	<p>地元の川内地区5丁目の1~4町会としては特に川内北小学校区に分類され、白滝神社と共に広く愛されてきた小学校、学び舎であったことは言うまでもない。</p> <p>「桐生みやま園」が建設された当時から 只今懸念されているところの山田川の異常出水による被害が出るであろう事の予測は容易にされていた案件と言える。</p> <p>現在のみやま園、及び県営住宅、市営住宅などが建設されている場所は以前は地目が「田」であり山田川の扇状地である事は明らかであるにも関わらず、是を看過しての開発であり、建設を行った事は偏に行政の怠慢としか言いようが無い。</p> <p style="text-align: right;">つづく</p>	
<p>3</p>	<p>桐生市への 提言 苦言</p> <p>桐生市の人口を減少させない、増やすための方策を</p> <p>桐生市として市政の運営に至急に改善しなければならない落ち度が有る。桐生市の市職員の総数は1051人であると総務課での答えである。回答は令和6年2月の時点及び3月11日時点のことである。そして、市内在住者は70%に満たない。市外在住者は30%以上である。との回答であるので、概ね平たく言えば、65%が市内通勤者で、35%が市外からの通勤者である。</p> <p>そこで、65%=683人。35%=368人と読めるので是は次の如くに言い換えられるとすれば。職員には家族が同居しているとすると、仮に一家族を3.5人で算出した場合、市内 65%=683人×3.5人=2390人 市外 35%=368人×3.5人=1288人の家族構成計算と成る。</p> <p>市の職員採用(応募)規定を次のように定めたならば、一挙に人口の増加が見込まれる。桐生市の職員たるものは、市内在住者から選出しなければならない。としたならば良いと提言する。が、採用後の移住制限が無いのが大問題である。</p> <p>市外在住者とは、みどり市、前橋市、伊勢崎市、太田市、足利市、等の近隣市町村が多いのかなと推測をするところであるが、定かでは無いにしても、如何にも多人数過ぎる「市外流出人口」とであると結論する。</p> <p>桐生市役所と云うところは、桐生市を寂れさせる、「人口流出を奨励させている温床である」と言える。35%の職員を呼び戻せば一挙に1288人の人口増加に繋がるのは明白である。「職員採用規定を市内在住者に限る、転出者はその職を失う」としたならば良いだけである。例外を極々極力認めない。</p>	<p>ご意見いただき、ありがとうございます。</p> <p>参考にさせていただきます。</p>

そもそも、市外に居を移す、居を構える、という事は、何らかの理由で市外の方が生活環境が良くて住み易いからであり、市内では快適な生活を望むことが難しい状態にあるからである。市民からの俸給を得ている職員足る者がである。この現象は各種の市税 所得税、住民税、等が桐生市外に持ち出される、という事を意味する。市外での生活は当然のことながら、居住地の行政に組み込まれての生活をすることが必然的に成される。

そして、居住地の住民としての当然の行為として、地元の行政に組み込まれ加担をしての生活を余儀なくされる。居住地を大事にして愛することが必至である。

しかして、勤務先である所の桐生市 市民では無い者が、果たして桐生市の為に全身全霊を以て尽くしますと言えるであろうか？桐生市をこよなく愛する愛していますと云う態度、勤務実態だと市民に対して申し開きが出来るといのであろうか？市外在住者が桐生市をよくよく理解をし、市民の公僕として桐生市への奉仕が十分に出来ているとはとても思えず、非常に残念である。市民権が無い。選挙権さえ無い。

向う一年以内に桐生市内に転居、移住させる。自己都合での退職をさせる。

大いなる失政を早期に回復させる必要が有る。

総務の回答によると、職員の給与が一人当たりの年平均額 613 万円 6,400 円であるので、368 人の職員が  $6,136,400 \text{ 円} \times 368 \text{ 人} = 22 \text{ 億 } 5,819 \text{ 万 } 5,200 \text{ 円}$  の市外流出額である。

単純計算とは言え、368 人が桐生市内に戻ることに依って 1288 人もの大人数の人口が増えるのであって、人口減少に歯止めがかかるところか市税も増えて市内消費循環額も増える、依って、市内経済もがその分だけでも活況増を呈することに成る事は事実である。

市政の不適切な「お手盛りの職員採用（応募）規定」を改善することに依って、市職員自らが桐生市の人口減を悔い止め、看過すること無く、人口増進を計らなければならない！

市は、桐生市民に対して深くお詫びを表明する必要が有る。人口流出を看過し、無策を呈するは、市長であり市議会議員であり、市の職員たる多勢の、市税消費者達の行っているところの、市民を蔑ろにし、「市財政を考慮すること無く、自己本位の生活をしている」者達の姿勢態度こそ「改める事が急務」である。

市民に対しての失政を直ぐにも改善を要する。